

審 議 経 過

No. 1

1. 開会

2. 会長挨拶

事務局から各委員を紹介し、それぞれ自己紹介後、会長挨拶

3. 議題

(1) 令和7年度事業経過報告

(2) 開館30周年記念事業経過報告

(3) カーボンニュートラル・ライブラリー経過報告

(4) 個人情報の誤公開経過報告

(5) 図書館の設置及び運営上の望ましい基準の答申について

●事務局から(1)から(4)の説明後、質疑応答

【令和7年度事業経過報告について】

(委員) AIワークショップの参加人数および対象年齢は？

(事務局) 10人に満たない程度だったと思う。小学生が対象で、楽しく取り組んでもらえたようだった。

(委員) 図書館相互レベルアップ事業とは何か？

(事務局) 佐世保市を中心とした近隣市町村の図書館員の経験・能力向上を目的に実施されている事業である。

(委員) ぶっくんの新規巡回希望がある施設へはどう対応されているのか？

(事務局) 年間スケジュールを定めて巡回を行っているため、巡回希望があれば集約し、来年度からの巡回が可能かどうか検討している。

(委員) 学校図書館連携室の業務内容は？

(事務局) 市教育委員会は、読書教育の充実・タブレットの活用・英語教育を三本柱としている。その中の読書教育充実のためには学校図書館の充実が必要として新設された部署である。現在は各種啓発事業の他、学校図書館の環境整備および図書事務の職員研修等を行っている。

(委員) 学校図書館の年度計画が作られ、相談先が増えた。今後は学校側が連携室を活用していきたい。

(委員) 市民図書館から学校へ派遣された司書に図書館の使い方を教わり、調べる学習コンクールでも図書館資料を活用させてもらった。図書館だからこそ所蔵している資料で、調べたいテーマへの理解が深まった。

【開館30周年記念事業経過報告について】

(委員) 館内に掲示されている一筆啓上の今後の活用は？

(事務局) 今後の開館40周年や50周年等の振り返りたい。

(委員) 冊子等を作成してはどうか？

(事務局) 一筆啓上を主催した「図書館フレンズいまり」で検討していただく。

【カーボンニュートラル・ライブラリー経過報告について】

(委員) カスタマーハラスメントについて触れられていたが、図書館で発生するカスタマーハラスメントとはどういうものか？

(事務局) 館内で高齢男性同士が会話している際、声の大きさを図書館員が注意しても納得されず、体を押ししたり声を荒げられた事例がある。館長室で注意および警告を行い、今後の発生防止についても働きかけている。

●望ましい基準ワーキンググループ座長より（5）の説明

(座長) 伊万里市民図書館が開館して30年となり、その間の歩みと現在の課題を踏まえた答申となっている。伊万里市と人口規模が同程度の全国自治体のうち、貸出点数が高い上位10%の図書館の平均値を指標とし、伊万里の実情に合わせて目標値として定めた。

4. 意見交換

(委員) 令和12年度までの運営目標ということで、段階的に計画・実現していくのか？

(事務局) 必ずしも政策目標というわけではなく、図書館が目指す方向性として認識している。この望ましい基準をこの後教育委員会に提出し、重点目標を検討していく。

(委員) 学校図書館との連携を図ることを前提としての目標および組織改革か？

(事務局) 連携を実現していくための答申である。

協議会の委員の同意を得たのち、座長より統括管理者に答申を手渡された。

5. その他

(1) 委員の任期

- 令和8年5月末までの2年間であることを事務局から説明

(2) 次回の協議会

- 令和8年6月～7月を予定していることを事務局から説明

6. 閉会